

中間報告会開催

第10期中間報告会が平成2年2月8日(木)午後6時より福井県職員会館にて開催されました。

総合司会の稲葉氏の開催の辞、富田会長の会長挨拶に続いて、分科会報告が川上氏の司会により行なわれ、活発な質疑応答が交わされました。次に会員の移動報告が行なわれ第10回総会以降に入会された野村氏、長谷川氏、水間氏、村上さんのあいさつが行なわれました。そしてREFの100人目の会員となった村上みち子さんに記念品が送られました。

中間報告会に続く懇親会では、中間報告の採点により最優秀賞に選ばれた緑分科会に対して、IREから助成金が送られました。最後に、長村氏の閉会の辞、万歳三唱をもって懇親会を終了しました。

交通分科会

「県内交流ネットワークに関する研究」

県内交流ネットワークについて、都市と農村の交流、県境部改善による交流の促進、積雪の影響等を考察し、また近代以前の舟運を中心とした交流ネットワークの歴史について研究を行なう。

地盤分科会

「斜面の防災」

福井県における斜面の崩壊の発生形態を調査し地質、気象等の地域特性の影響を考慮した評価方法の考察を行なう。また地盤データベースの県内全域への拡充も継続的に行なってゆく。

緑分科会

「福井の街の景観と色彩」

福井市都心部の景観について色彩面から現状の分析・評価を行ない、快適な景観を形成するための色彩計画について、施設ごとに適した色彩の提案や色彩誘導の方法について考察する。

土地利用分科会

「土地税制が宅地形成に与える影響について」

土地に関する税制度について、諸外国の例と比較しながらその仕組みと役割とを検証し、現在の税制度の問題点や地価をはじめ宅地形成に与える影響を考察する。

海外研修のご案内

今年のREFの海外研修は、現在のところシルクロードコースを考えています。

そのほかに他の研究会から、次のような海外研修のお誘いがあるので紹介します。

1. 岐阜の丹原氏から、6月頃にアメリカのサンアントニオ旅行の企画があるそうです。予算としては20~25万円ぐらいの予定だそうです。

2. 山梨のYRPでは、今年はインドネシアへ旅行する予定です。

詳しい内容や続報は逐次今後のREFニュースにてお知らせしたいと思います。

第6回幹事会開催される

REF第10期第6回幹事会が、1月11日（木）午後6時30分より行なわれました。出席されたのは加藤氏（幹事長）、長村氏（副幹事長）、橋本氏（総務）、渡辺氏（財務）、八幡氏（交通・談話会）、中村氏（緑）、石森氏（理論研究会）、川村氏（研修会）、伊藤氏（談話会支援）、山納（広報支援）の10人でした。

○中間報告会について

日程、プログラム、当日の役割分担等について話し合いました。

○10周年記念講演会について

10周年記念講演会の決算報告と反省を中心に話し合いました。「ほろよい討論会がよかったので、総会のあとの懇親会もほろよい形式として、オープンにしたらどうか」との意見もみられました。

決算報告を以下に記します。

収 入			
項 目	予 算	決 算	増 減
積立金	800000	800000	0
第2部会費	200000	130000	70000
寄付	200000	240000	-40000
打上会残金	-	16000	-16000
機関誌売上	-	5200	-5200
計	1200000	1191200	8800

支 出			
項 目	予 算	決 算	増 減
講師謝礼	830000	837000	-7000
会場借上費	81200	85710	-4510
看板	48000	48000	0
生け花	20000	20000	0
ほろよい飲食費	99800	69645	30155
印刷費	70000	71500	-1500
人件費	40000	40000	0
予備費	11000	5990	5010
計	1200000	1177845	22155

差引

収入－支出＝ 1,191,200－1,177,845＝13,355円

○会員名簿の管理について

総会、中間報告会ごとの出欠調査の際に、住所等を報告してもらうことで会員の現在の住所の把握・更新をしてゆくことを確認しました。

○会員の移動等雑件

新会員として、水間洋一氏（自営）、村上みち子さん（福井県土木部）の入会が承認されました。希望している分科会は水間氏が土地利用分科会、村上さんが緑分科会とのことです。2人の入会によりREF会員もとうとう待望の100人の大台にのることになりました。

次の幹事会は、3月22日（木）午後6時30分から行ないます。

REF談話会・IRE研修会

開催のおしらせ

REF談話会・IRE研修会を平成2年4月5日（木）午後6時より、福井県職員会館にて行なう予定です。韓国 の東亜大学の呉先生と釜山水産大学の鄭先生をお招きし、「人づくりシンポジウム」と題して行ないます。奮ってご参加ください。

第4回理論研究会開催

第4回理論研が1月26日（金）午後6時30分より行なわれました。出席者は石森氏、前川氏、山納の3人でした。テキストは前回に続き「明治という国家」を用いました。内容は以下のとおりです。

第4章 “青写真”なしの新国家 … 山納

第5章 廃藩置県 … 前川氏

第5回理論研究会開催

第5回理論研が2月23日（金）午後6時30分より行なわれました。出席者は石森氏、加藤氏、前川氏、山納に加えて、今回川上洋司氏が初めて参加されました。テキストは今回も「明治という国家」を用いました。内容は以下のとおりです。

第3章 江戸文化の無形遺産 “多様性” … 加藤氏

第6章 “文明”の誕生 … 石森氏

第7章 『自助論』の世界 … 加藤氏

なお、次回の理論研は3月19日（月）午後6時30分から行なう予定です。

あとがき

半年ほどREFニュースを担当してきましたが、いよいよ今回が最後となりました。短い間でしたがお世話になりました。… 山納

第7回幹事会開催

第10期第7回幹事会が、3月22日(木)午後6時30分より行われました。出席されたのは本多氏(副会長)、加藤氏(幹事長)、前川氏(副幹事長・地域交流)、橋本氏(総務)、渡辺氏(財務・地盤)、八幡氏(交通・談話会)、中村氏(緑)、川村氏(研修会)、稲葉氏(財務支援)、山納氏(広報支援)、横田(広報支援)の11人でした。内容は以下の通りです。

1. REF談話会について

韓国から講師を招いて、4月に行われる予定のREF談話会について、期日、場所の選定、また進行方法等について話し合われました。

2. 第10期REF海外研修について

第9期は海外情勢等から行われなかった海外研修ですが、今期はREFの以前の反省点などを含め検討した結果、台湾拠点コースとシンガポール拠点コースの2つが候補として挙げられました。スケジュールとしては、8月上旬の11(土)12(日)日を含んだ前後4～5日を予定しています。

3. REF10号編集について

4/5の談話会の記事、また10周年記念記事に関する扱いや、4月末までに編集委員を報告すること、5月初めに第1回編集委員会を行うことなどが確認されました。

4. 3～4月の行事予定について

5. 会員の異動等の雑件

本幹事会において、以下の入会等の承認がされました。

1. 新規入会(敬称略)

荒川 辰雄	・福井県土木部道路建設課(地盤)
上道 悟	・福井市役所開発部(地盤)
下川 明秀	・福井市役所(緑)
山崎 沢幸	・山崎建設KK(緑)
山瀬 久美子(株)	都市設計総合研究所(交通)
辻 篤志	・岐阜県庁(会友)
前田 修司	・(株)トニチコンサルタント(会友)

2. 新規学生会員入会

尾崎 俊秀	・福井大学大学院(緑)
鈴木 英友	・福井大学大学院(交通)
高田 茂樹	・福井大学大学院(交通)
野内 洋	・福井大学大学院(交通)
横田 強	・福井大学大学院(土地)

3. 会友への変更、退会等

一守 由紀夫	・大日本コンサルタント(学生会員→会友)
伊藤 正明	・三和測量(株)(会員→会友)
山納 武彦	・アイ・ビー・エス・デザインセンター(学生会員→会友)
前田 善治	・(退会)

第6回理論研開催

第6回理論研究会が、3月23日(金)に開催されました。出席者は、石森氏、加藤氏、山納氏、尾崎君、鈴木君、高田君、野内君、横田の8名でした。内容は以下の通りです。

東郷の学んだカレッジ……新学生会員

勝海舟とカッテンディーケ……石森氏

サムライの終焉あるいは武士の反乱……加藤氏

第7回理論研開催

第7回理論研究会が、4月20日(金)に開催されました。出席者は、加藤氏、川上氏、児玉氏、尾崎君、高田君、野内君、横田の7名でした。内容は以下の通りです。

「自由と憲法」をめぐる話……尾崎君、横田

次回は5月21日(月)の6時30分から開催の予定です。

この理論研も参加者が大幅に増えた為、次の回からは、各月毎に決められた人が書評を書き、それについて参加者が討論する形を取ることになりました。これを機会に社会人の方々の理論見の参加をお待ちしております。新生理論研の予定は次のようになっています。

5月

加藤氏……技術標準対知的所有権 中公新書

尾崎君……風土 岩波文庫

6月

川上氏……未定

高田君……地球は救えるか NHKブックス

7月

児玉氏……明治の東京計画

岩波同時代
ライブラリ

横田……未定

8月

未定

野内君……都市の生態学

第10期REF海外研修

第10期海外研修の概要が決定したのでお伝えします。

行先: シンガポール

期間: 7月13日～17日の3泊5日

現在参加希望者が14名程おられますが、まだ申し込みには間に合いますので、時間、費用の都合のつく方は是非とも参加してください。

ほろ酔い談話会開催

さる4月5日の午後6時から8時にかけてI R E 研究助成によるほろ酔い談話会が総勢28名の参加を得て職員会館において行われました。

まず6時からのパネリストによる問題提起では韓国の未来学会から呉 氏と鄭 昌植氏、R E Fからは川上 洋司氏と加藤 哲男氏から「人づくりに関するシンポジウム」についてそれぞれの考え方を述べられ、その後参加者とパネラーとの間でお酒を交えた活発な意見交換がなされました。

以下に第8回幹事会において報告された談話会の決算を掲載します。

ほろよい談話会 明細

【支 出】

項 目	数 量	単 価	金 額
職員会館会場費			6,400
給 食 費			74,110
オードブル	23	2,500	57,500
取 皿	4	250	1,000
そ ば	4	250	1,000
ビ ー ル	24	440	10,560
酒	15	270	4,050
奉 仕 料			8,051
冷 暖 房 料			960
税金(消費税)			2,721
そ の 他			1,210
スクリーン使用料			500
フイルム	1	510	510
折 詰	10	20	200
案 内 送 付 費	62	43	2,666
写真・プリント費			888
合 計			97,006

【予 算】

項 目	数 量	単 価	金 額
談 話 会 予 算			90,000
談話会参加費収入	1	1,000	1,000
合 計			91,000

【差 額】

支 出	予 算	差 額
97,006	91,000	△ 6,006

R E F 10周年記念講演会決算報告の訂正
前号でお伝えしたR E F 10周年記念講演会決算報告に誤りがありましたので以下のように訂正致します。

1. 講師等謝礼 野坂昭如氏 決算
(537,000) → (539,000)
- 計 決算
(1,177,845) → (1,179,845)
- 差 引
13,355 → 11,355

第8回幹事会開催

第10期第8回幹事会が、5月10日(木)午後6時30分より行われました。出席されたのは本多氏(副会長)、加藤氏(幹事長)、長村氏(副幹事長)前川氏(副幹事長・地域交流)、橋本氏(総務)、八幡氏(交通・談話会)、沢崎氏(土地利用・広報)、稲葉氏(財務支援)、横田(広報支援)の9人でした。内容は以下の通りです。

1. 第11回R E F総会日程について

当初7月21日に予定されていた総会ですが、諸事情から7月28日の開催となりました。

総会の進行については

PM3:00 報告会

PM4:30 総会

PM6:00 懇親会 となっています。

2. R E F 10号の編集について

R E F 10号目次については以下のようになっています。

1. 巻頭言 富田 伊太郎 会長

児玉 忠 副会長

2. 特別報告 本多 義明 副会長

加藤 哲男 幹事長

長村 一男 副幹事長

3. 活動報告

ア. 分科会のテーマ・メンバー・開催日

イ. 理論研究会報告

ウ. 談話会報告

エ. 地域間交流報告

オ. 幹事会・中間報告会

4. 地域間交流

ア. 釜山・未来学会

イ. 山梨・Y R P

ウ. 岐阜・都市と農村

5. 分科会研究報告

(交通・緑・土地利用・地盤分科会)

6. R E F 10周年記念講演(要旨)

7. 福井地域環境研究会規約

8. 会員名簿及び第10期役員

3. 第11期R E F海外研修参加者確認について

4. 会員の異動等雑件

本幹事会において東京コンサルタンツ(株)の良玄 佳彦氏、福井県土木部の酒井 俊雄氏の入会が承認されました。酒井氏は緑分科会への入会が内定しています。また、同じく岡崎(旧姓城下)氏、石森氏が諸事情によって会友となれることも承認されました。

またほろ酔い談話会の決算報告もされました。

次回の幹事会は7月18日(水)に行われる予定です。

今回から担当の引継ぎがあり、その他諸事情から発行が遅れてしまいました。今後はこういったことが無いようにしたいと思いますのでどうかよろしくお願いします。

(M)

第11期第一回 幹事会開催される

REF第11期第2回幹事会が9月13日(木)の6時30分よりREF会議室にて開催されました。幹事会に参加されたのは、本多氏(会長)、加藤氏(幹事長)、前川氏(副幹事長・地域交流担当)、橋本氏(総務)、渡辺氏(財務)、三輪氏(交通)、川上氏(邑都・論文)中島氏(地象)、稲葉氏(研修会)、酒井(広報)、小島氏(財務支援)、長谷川氏(談話会支援)、槇田(広報支援)の13人でした。内容は以下の通りです。

1. 第11期REFの運営方針について

まずREF第11期活動の基本方針として、次の10年に向けて自主研究グループとしての活動の充実化といったことが打ち出されました。

①各業務執行基本方針、年間計画

「談話会」……まず11月に長村氏(シンガポール)、加藤氏(アメリカ)の海外視察の報告といった形での談話会を企画している。(後に詳報)

「総務」……例年通り、1月下旬から、2月上旬の間に中間報告会を行い、7月に総会を行うというスケジュールで進めていく。記念シンポジウムの企画もあり。

「財務」……基本的に予算案に従って実行。総会で決定したように、分科会に対する研究助成金は2段階方式とする。

「広報」……論文等の収集は早めをしたい。また、総務と共に新しい新入会員案内の作成もする。またREFニュースをもっと興味を引くような親しみやすいものにする。

②研究計画と分科会開催状況

「交通」……9月20日に分科会開催。この分科会において研究テーマを討論する。研究テーマとしては、橋・鉄道などによる分断などを考えている。

「緑」……9月12日に分科会開催。第10期のテーマをさらに押し進めて研究する。月2回ぐらいのペースで分科会を開催したい。

「地盤」……丹南地区の斜面崩壊について研究を続けていく予定。

「邑都」……10月5日に分科会開催。この分科会において研究テーマを討論する。

「地象」……9月19日に分科会開催。この分科会において研究テーマを討論する。

「地域間交流」……他研究会との交流を更に図って行きたい。記念シンポジウムへの参加を呼びかける。

2. 記念シンポジウムの企画について

テーマ、開催時期、会場、講演者、パネラーの人選などについて話し合われました。開催時期は年明けから春先にかけての間が予定されています。

3. 会員の移動等雑件

本幹事会において以下の会員移動が承認されました。

新入会員

宮本 数男(株)宮本設計事務所)

REF談話会開催の お知らせ

第11期第1回談話会が以下のように行われます。

日時: 11月2日(金) 6:30~

場所: 職員会館 201号室

長村氏のヨーロッパ視察と加藤氏のアメリカ人歩きをテーマに、スライドを中心として談話会を開催します。

お二人の楽しい話が聞けるとと思いますので、ふるってご参加の程、お願いします

理論研究会報告

幹事長 加藤哲男

従来の輪読形式から書評形式に改められてから、これまでに4回の理論研が開催され、7冊の書評が終わった。5名の福井大学院生の参加によってより活発な意見交換が行われているが、当初目論だ新しいメンバーの参加が未だ無い状況を見ると、必ずしも喜んでばかりはいられない。ここ数年福井大学院生以外のメンバーは固定されてしまっている。この現状を何とか打破出来ないものかと模索中である。読書、あるいは読後感想の交換は知的ゲームとして楽しむのにふさわしいと思えるのだが、会員諸兄はどうお考えだろうか。

次回理論研究会 10月30日(火) 6:30

テキスト1: 「日本語と外国語」

発表者 前川 政人 高志高校教諭

テキスト2: 「日本は悪くない」

発表者 鈴木 英友 福井大学院生

REFの活動も11期に入って、新たに二つの分科会が設立されることになりました。
ここで、それぞれの分科会の研究方針などを知るために設立趣意書を掲載します。

邑都分科会

(代表：川上 洋司 氏)

モータリゼーションの進展、そこに住む人々の欲求レベルの高度化、ニーズの多様化は、ますます日常生活圏の拡大を促している。地方においてもこの傾向は顕著であるが、地方の場合、都市部とその郊外部を越え、周辺の多様な質を持つ農山村部をも含みこんで一つの圏域を構成しているところにその特徴がある。

従って、従来の都市と農山村という二分的な扱いではなく、両者を統合したより大きな単位、つまり地域としての視座、計画フレームの確立、換言すれば自然空間から都市空間までの多様な空間資源を一つのまとまりとして如何に活かしていくかに対する取り組みが必要とされる。また見方を変えれば、このことは、過疎・活力低下に悩む周辺農山村部の活性化と、今後ますます増大する自由時間の増大とレジャー・レクレをはじめとする人々のニーズの多様化に、地域総体として応え、調和・活力のある地域空間(生活圏)を作り上げて行くという方向を意味する。

本分科会は上述のような課題に応えることを基本的なねらいとするものである。

地象分科会

(代表：中島 敏浩 氏)

人は地上に棲む。現在はもちろんのこと、人が宇宙を徘徊するであろう将来においても、地球は人のふるさとであり、この地球の薄い表層が母なる胎内である。人のあらゆる活動はこの大地の上に展開される。人は大地に守られ、大地を利用してその活動を広げてきた。しかし、地球は必ずしも人のためだけに存在するのではない。大地の活動は時として、人の財産を奪い、人の命さえ脅かす。人がのびのびと自由にこの大地の上のその活動を広げていくためには、大地の心(地象)を十分理解することが必須である。

地象分科会(EE GROUP)は人間の社会的な活動にたいして大地の抱く心を読むことをその活動目的とする。すなわち、あらゆる大地の現象と人間の活動との係わりに関心を持ち、大地の心に適合する人間活動のあり方を探求する。

分科会だより (10/15現在)

交通分科会

(実施) 9/20
(予定) 10/24

1. 自然環境の分断の現状
 2. 人口施設による分断の状況
 3. 分断と交流の評価
 4. 分断の歴史
 5. 分断のケーススタディ
- で進めることが9/20の打ち合
せで決まった。
10/24は5万分の1の地形図
を明治時代から現在のものまで5
枚用意し、上記1、2について調
査する予定。

土地利用分科会

第1回分科会を10月下旬に開
催予定。

緑分科会

(実施) 9/12, 9/26

今期のテーマは、10期に引き続
き「福井の町の景観と色彩」とす
ることとし、現地調査の打ち合せ
を行った。

地盤分科会

(実施) 8/29, 9/19
(予定) 10/16

- 第10回研究報告会での質問、
指摘内容の分析と今後の方針を話
し合った。
1. 航空写真から判読した内容の
データベース化を検討
 2. 斜面崩壊箇所を10月下旬
(紅葉の季節に)現地踏査す
る。
 3. ランドサットのデータを活用
し、地すべり、地下水の動向、
植生等を判別できないか検討。
- 9月19日(水)は台風19号
接近による水防待機のため、出席
者が少なかった。今後秋の深まり
と共に活動も活発化する予定。

邑都分科会

(実施) 10/5
(予定) 11/13

今年度から新設された本分科会は、
10月5日に第1回が開催された。
8名の参加者のもとの邑都分科会
として目指すところ(長期方針)、
及び今年度の研究方針について議
論がなされた。今年度は地域圏域
の中での都市と農村の関係論(現
状と今後のあり方)を固めていく
ことをベースにおきつつ、都市部
・農村部における諸整備事業、制
度を洗い出していくこととした。
特に農村部における整備事例の検
討においては宮崎町、織田町を対
象として取り上げる予定である。

地象分科会

(実施) 8/29, 9/19
(予定) 10/16

10/16は、福井地域におけ
る過去の地震状況について資料を
持ち寄り、討論する予定。

「まちを尋ねて」

広報担当が変わったのを機に、新しい企画を一つやることになり、「まちを尋ねて」と題した特集を今回から始めることになりました。県外の印象に残った市町村について簡単な感想を載せていこうというものです。第1回は岐阜県高山市を取り上げ、広報担当の私が書かせて頂くことにします。

高山市は岐阜県北部、海拔537メートルの高原にある、人口64,000人ほどの「飛騨の小京都」と呼ばれる町です。油坂を越えて車で訪れたのですが、休日ということもあり、すごい渋滞でした。駐車場はどこも満車で、道は狭く、町を通り抜けるだけでもかなり時間がかかりました。ひどいところに来たなと思いました。そんな感情も車から降りて町の中を歩くにつれ変わりました。来るまでは、古い街並みがあると聞いていたのですが、な、な、何と若い人の多いこと（アベックや女の子の2, 3人連れが多い）。横浜や神戸ならともかくあまり便利の良くない古い町によく来るなと思いつつも、若い人が多いのだからきつと面白いまちに違いないと思いました。そして、さらに歩いて行くと重要伝統的建造物群保存地区という看板がありました。その通りは、二之町通りという300メートル程の街路ですが、濃い茶色に統一された二階建て木造建築の実に美しい家並みであり、窓は、アルミサッシではなく格子でした。さらに驚いたのは、こういった古い家は記念館として残す場合が多いのに、ここでは、まんじゅう屋、郷土玩具店、みそ屋、しょうゆやなどの商売をし、生活していることで、まるで、江戸時代にタイムスリップしたような感じでした。

のどが乾いてジュースが飲みたいと思い、自動販売機をさがしたのですがなかなか見つからず、街のはずれの電柱の陰でやっと見つけることが出来まし

た。ジュースを飲みながら「何だ、自動販売機もろくにないのか。」と思いましたが、よく考えると自動販売機の派手な色が景観を壊すということと、空き缶の投げ捨てを危惧してのことだろうと感心しました。

街中を流れる宮川と江名子川も石積み護岸、きれいな水の流れが周辺の景観とマッチしていましたし、また、街角で「ごへいもち」や「みたらし団子」を売っているのも古い街並みの雰囲気盛り上げるのに一役買っているようでした。

ちよつと入った喫茶店で、来客用の落書き帳があり、それを読むと初めて訪れた人は「ぜひ、また来たい」と書いてあり、実際、何度も訪れている人が多いようでした。私が思うに、名所など点としての観光地は各地にあるが、それらを含む、まち全体が日常空間と全く違う雰囲気（非日常空間）をもっていることが重要であり、また、この街の人気の秘密だと思いました。

これだけ整備された街並みにするまでには幾多の苦労があつたと思われます。行政の役割も大事であるが、それに加えて、街全体の住民の意識の高さと協力が必要だろうと思いました。

大野市も高山市も1580年頃金森長近が今日の骨格をつくり、まちの街路の形状は現在でもだいたい同じです。しかし現在では訪れる人の数はもちろん、訪れたときの印象に大きな開きがあります。いったい何がそんなに違ったのだろう。帰りに大野市の街中を通りながらふとそう思いました。

街の面白さだけでなく、まちづくりのよい見本になると思いますので、一度いつてみて下さい。

次回以降続けていく予定ですので、このまちは良かった、面白かったという所がありましたら、広報までお知らせ下さい。

（福井県都市計画課 酒井 俊雄）

享月

日

業

日

9/6

1990年

編集後記

福井の都市構造

過去10年から今後の10年見通す

地域環境研会報「REF」が第10号

福井の地域環境上の問題を調査研究し、より良い地域づくりを貢献することを旨とする福井地域環境研究会（富田伊太郎会長）の会報「REF」が一九八

研究報告は①都市と農山村、県境部の改善、積雪期、交通ネットワークの歴史などに触れた「県内交通ネットワークに関する考察」②福井駅前地区を対象に現地調査、分析をする「福井の街の景観と色彩」の中間報告③県内でも目立ってきた地価高騰に関連した「土地税制に関する考察」④山の斜面の崩れた場所について、地質学的特徴や地

形と崩壊の頻度を調べ、崩れやすさの指標を作った「丹生山地北部の斜面崩壊」の四、⑤で福井市の本郷、大丹生地区、清水町南部地区が崩壊の起きやすい区域と予想されている。

また、本多義明副会長の第一十一回土木計画学シンポジウムでの発表を加筆、修正した特別寄稿「地域性を考慮した交通計画づくりの必要性」では、地域の固有性（伝統）と、代替性（効率）を重視した計画づくりのため、地域の計画集団とデータベースの整備を唱え、そのうえで、交通計画での具体的な課題を取り上げている。

一年の創刊以来のほど第十号を迎えた。富田会長の巻頭言では、産、官、学の各分野に所属する同会の研究者らが、この十年間に蓄積してきた成果を振り返りながら、研究視点を整理。児玉副会長が福井の都市構造に影響を与えた過去十年の事からを整理し、今後十年を見通す想像力を提起している。

さてまず、さる9月6日付けの朝日新聞に「REF10号」の記事が掲載されましたので紹介します。

幹事会報告にもありましたように、REFニュースをもっと親しみやすく、興味を引くようなものにするために内容が一部変わりました。

今後とも新たな企画をどんどん出していこうと思っておりますのでよろしくお願い致します。(M)

地域国際交流シンポジウム開催される

さる1月26日(土)に、県民会館大ホールにおいてREF主催の地域交流国際シンポジウムが開催されました。

まず、最初にREF会長でもある本多義明福井大学教授の「地域計画における国際交流の意義」というタイトルで基調講演が行われました。この中で、本多先生は「地域性は、これを代替性と固有性に分解される。しかし最近の地方都市は大都市圏に追従し、代替性ばかり追求して画一的になりつつある。こういう時代であればこそ、他の地域と国際的な交流を深め、その地域独自の個性というものを作り出して行くべきだ。」と述べられました。

その講演を受けて、「地域における国際交流の意義」と題したパネルディスカッションが花岡利幸山梨大学教授の司会のもと行われました。パネラーとして参加されたのは、呉允杓韓国東亜大学校教授、竹内伝史中部大学教授、エイ・エフ・エス日本協会福井県支部長中邑俊子氏、松島翠福井新聞論説委員長、IBアメリカンクラブ・ディレクターモーリス・ルイス・スプリチャル氏の5名でした。まずそれぞれのパネラーが「地域における国際交流の意義」について、10分程度で自らの経験を交えた「国際交流」について多様な意見を述べられました。次にパネラー5人による討論に入り、盛んな意見交換が行われ、会場からも意見が出るなど、盛況のうちにパネルディスカッションは終了しました。

「地域で人材養成を」

国際交流シンポで討論

地方の国際交流を考える「地域交流国際シンポジウム」が二日、福井市大手三丁目三の県民会館で開かれた。日本在住の米国人や韓国の大学教授らがパネリストとして参加、地方での国際交流の意義や課題などを話しあった。会場では約百人が討論に聞き入った。

主催した福井地域環境研究会の本多義明会長(福井大学工学部教授)が「地域計画における国際交流の意義」と題して基調講演、「地域の排他性を除く上で、国際交流は有益。そのためには、地域独自で人材を養成することも必要」と述べた。

パネルディスカッションでは、韓国の呉允杓・東亜大学教授は「五年ほど日本に住み、行政と民間の間の摩擦で奨学金を取り消された経験がある。官民の足並みが揃えばいいが、官民の足並みに揃らず、民間の交流を進めたい。手はじめて私の住むところの官民が出た。」

また会場からは「それぞれの都市が小さな世界都市を目指すつもりで交流を進めていくべきだ」などの意見が出た。

また、シンポジウム終了後、同会館7階大会議室において5時半より150名以上の参加を得て懇親会が行われました。

総務の橋本氏の司会で、まず顧問である富田伊太郎氏の挨拶から始まり、花岡利幸山梨大学教授、呉允杓東亜大学校教授、本多義明教授各氏による挨拶が続ぎ、本多先生への花束贈呈および鏡割が盛大に行われ、次いで今野修平大阪産業大学教授の音頭で乾杯が交わされました。以降は歓談を交えながら本多教授に祝辞が送られるなど終始和やかな雰囲気、最後に副幹事長の長村氏の閉会の辞、竹内伝史中部大学教授の音頭による万歳三唱によって、盛況のうちに会は幕を閉じました。

第11期REF第3回幹事会開催される

第11期REF第3回幹事会が1月18日（金）にREF会議室において開催されました。参加したのは、本多氏（会長）、児玉氏（副会長）、加藤氏（幹事長）、長村氏（副幹事長）、前川氏（副幹事長）、橋本氏（総務）、渡辺氏（財務）、三輪氏（交通）、中村氏（緑）、沢崎氏（土地利用）川上氏（昌都、論文）、川村氏（情報）、酒井（広報）、稲葉氏（研修会）、小島氏（財務支援）、長谷川氏（談話会支援）、槇田（広報支援）の15人でした。内容は以下の通りです。

1. 地域交流国際シンポジウムについて

①収支計画の承認

地域交流国際シンポジウムについての収支計画が承認されました。

②プログラム原案の承認

プログラムの原案が広報から提出され、意匠、内容について意見が交換されました。

③出席者の確認

当日懇親会に出席される方の確認が行われました。

④当日の任務分担の確認

2. 第11回REF中間報告について

2/8に行われる第11回中間報告について、司会、発表者などが決められました。（詳細は後に掲載）

3. 第12回海外研修について

期日は8月23、24、25日に決定しました。行き先は香港、杭州のどちらかになりました。出欠は直接稲葉氏に連絡をとるようにして下さい。

4. 1～2月の予定について

①理論研究会

第5回理論研究会が1月29日に行われました。

②談話会

第2回談話会が3月中旬ごろに行われることになりました。

第11回中間報告会の お知らせ

第11回中間報告会が2月8日（金）に職員会館401号室において6:00から7:30まで開催されます。司会、発表者、コメンテーターは以下の通りです。

司会：福井 卓雄 氏

	発表者	コメンテーター
交通	三輪氏	長谷川氏
緑	酒井氏	長村氏
土地利用	沢崎氏	前川氏
地盤	未定	児玉氏
昌都	加藤氏	橋本氏
地象	未定	稲葉氏

3万円がかかった(?)大事な発表なので（笑）ぜひとも参加下さるようお願い致します。

第5回理論研開催

第11期第5回理論研究会が開催されました。課題図書は、児玉氏推薦の「忘れられた日本人」と鈴木君推薦の「超電導とは何か」で、それぞれについて三輪氏と槇田が、コメントをしました。「忘れられた……」については、現在は表の常識ばかりに縛られているが、昔は地域毎に裏の常識というものがあつた。現在においても、国際的な見地からこういった地域毎の常識というべきものを理解すべきであるといったことが話されました。また「超電導……」については新しい技術の開発によって世の中が進展していくことによって、現在の常識が変化していくこともありうるので、どういった変化をしていくのか見極めることが重要であるという意見が交わされました。

次回の予定は3月22日（金）に行われる予定です。

☆☆☆編集後記☆☆☆

あと1週間ほどで中間報告会が催されますが、各分科会に所属されている方々はがんばって下さい。また、REF会長でもある本多義明先生が1月1日付で教授になりました。心からお祝い申し上げます。次回からは担当者が代わることになりました。新生REFニュースにご期待下さい。

(M)

第11期 R E F
第4回幹事会開催

第4回幹事会が平成3年3月28日(木)午後6時30分よりREF会議室において開催されました。出席者は加藤氏(幹事長)、長村氏(副幹事長)、稲葉氏(研修会)、川上氏(昌都)小嶋氏(財務支援)、中村氏(緑)、横田氏(広報補佐)、岩崎(広報支援)の計8名でありました。

今回の幹事会では、地域交流国際シンポジウムの決算報告がなされた後、REF11号の編集についての議論が中心に行われました。詳細は以下に記載します。

1. 地域交流国際シンポジウムについて

稲葉氏(会計)より、地域交流国際シンポジウムの収支決算報告が行われました。収入については、本多氏(会長)から大学教授昇進祝い金の寄付を頂くなどで予算を56,500円上回りました。これに支出を差し引いた結果、決算は85円増となりました。

2. REF第11号について

地域交流国際シンポジウムの基調講演、シンポジウム、また10周年記念事業の記念講演、ほろ酔い討論会のテープおこしと要約について議論し、各分科会から編集委員を選任し、編集委員会を開くことに決定しました。編集委員会の開催日については、おって連絡致します。なお編集委員は以下の通りです。

編集委員長	酒井氏	(広報)
編集委員	前川氏	(交通)
編集委員	沢崎氏	(土地利用)
編集委員	下川氏	(緑)
編集委員	古市氏	(地盤)
編集委員	上道氏	(地象)
編集委員	野内氏	(昌都)

岩崎 (広報支援)

3. 第12期REF海外研修について

第12期の海外研修は、8月26日から29日の3泊4日で上海・杭州にて行われる予定です。(別面詳細)

4. 4～5月の行事予定について

次回の理論研、幹事会の日取りが確認されました。談話会は未定です。

理論研: 4月24日

幹事会: 5月30日

5. 会員の入退会等雑件

新正会員として宮本幸数氏が入会されましたが、残念なことに宮本数男氏(父)が退会することになりました。また、新たに学生会員として3名が入会することになりましたので宜しくお願いします。なお、学生会員の横田強氏が正会員に昇格しました。(別面詳細)

第2回談話会開催

第2回談話会が、平成3年3月27日(水)午後6時30分から、県職員会館201号室において開催されました。

今回は、福原助教授によりイスラエル(エルサレム)についての報告が行われました。途中スライドを交えながら、気候、歴史、地形条件から始まり、水の問題や文化等について発表が行われ、最後に質疑応答がなされました。参加者は16名でした。

REF海外研修の参加者募集

今回のREF海外研修は、IREと共同開催の予定です。ただ今、参加者を募集しています。

行先： 上海・杭州

期間： 8月26日から29日の3泊4日

参加人数は15名から20名を予定していますので、参加希望の方は5月10日までに下記までご連絡下さい。

REF海外研修会担当幹事

〒910 福井市城東4-28-1

福井県土木事務所 稲葉 隆夫

TEL 0776(24)5110

今回から R E F ニュース担当が代わりました。初めてということで、まず自己紹介させていただきます。福井大学大学院工学研究科の岩崎光男です。今年学生会員として入会した3人のうちの一人です。川上洋司先生の下で日々勉学に励んでおります。今後、R E F ニュースがおもしろいものとなるよう努力していきたいと思います。至らない点もございますが、なにとぞ宜しくお願いいたします。

第11期 REF
第5回 幹事会開催

日 時: 5月30日(木), 6時30分
場 所: REF会議室(三谷ビル203号室)
出席者: 本多氏(会長)、長村氏(副幹事長)、
前川氏(交通)、中村氏(緑)、渡辺
氏(財務、地盤)、酒井氏(広報、緑)、
沢崎氏(土地)、中島氏(地盤)、
橋本氏(地盤)、川上氏(邑都)の計
10名
内 容: 主にREF第11号の編集日程および
掲載項目の確認。

1. REF第11号について

今後のREF第11号の編集日程および目次、
執筆者等の最終確認が行われました。

※なお、原稿の規定については裏面に詳細

- 目 次
- 1) 巻頭言(沢崎氏)
 - 2) 特別投稿(今野先生)
 - 3) 分科会活動報告
 - 4) 地域間交流報告
 - 5) 分科会研究報告
 - 6) 地域交流国際シンポジウム
 - 7) 福井地域環境研究会規約
 - 8) 会員名簿
 - 9) 第11期役員

以上の内容で、印刷部数は400部を予定していま
す。

REF第11期分科会報告会及び総会が、平成3年
7月13日(土)に県職員会館401号室において開催
されることになりました。

REF第11期
分科会報告会

次 第 … 午後2時30分

1. 開 会
2. 幹事長挨拶
3. 分科会報告
(各発表時間12分、コメント3分、質疑3分)
4. 総 表
5. 閉 会

REF第12回総会

次 第 … 午後4時40分

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 会友祝辞
4. 新入会員紹介及び会員等移動報告

5. 第11期活動報告

6. 議長選出

7. 議決事項

- (1) 第11期決算報告について
- (2) 役員改選について
- (3) 第12期予算案について

8. 第12期活動方針

- (1) 幹事長決意表明
- (2) 各分科会
- (3) 理論研究会
- (4) 談話会
- (5) 研修会

9. 地域交流

10. 閉会の辞

懇親会

次 第 … 午後6時～

1. 閉会挨拶
2. 乾 杯
3. 飲 談(適宜スピーチ)
4. 閉会の辞

2. 第12期海外研修について

7月26日～7月29日(予定)、3泊4日の上海・杭
州海外研修は、IRE募集分(15名)、REF募
集分(7名)の計22名の参加となりました。

なお、当日の混雑が予想されるため、日程の変
更も考えております。詳しい日程については、6
月末に正式発表します。

3. 予算案の報告

REF第12期予算案が報告されました。決算
案は次回に報告されます。

4. 6月～7月の行事予定

理論研: 6月3日、午後6時30分

談話会: 予定無し

幹事会: 7月4日、午後6時30分

5. 会員の入退会・移動等雑件

新規入会(敬称略)

◎北島 勝三 … (緑)

〒910 福井市西開発4丁目 609-1

㈱ 宮本設計事務所

◎坪川 敏幸 … (邑都)

〒910 福井市御幸 2-25-8

福井県立高志高等学校

変更(敬称略)

◎瀧 裕孝 … 会友→会員

第十二回総会 開催される

第十一期活動を締めくくり、次期活動計画を討議する第十一期分科会報告会及び第十二回REF総会が、七月十三日(土)の十四時三十分より県職員会館二〇一号室にて開催されました。

まず、分科会報告会が総合司会野村氏の開会の辞で始まり、幹事長挨拶の後、小嶋氏の司会で各分科会による報告が行われました。それぞれの発表に対し、他分科会からのコメントーターによる意見が述べられ、また活発な質疑応答が交わされました。

十分ほどの休憩をはさみ総会に移り、開会の辞、会長挨拶、顧問挨拶、新入会員の紹介及び会員等の移動報告、第十一期活動報告、議長選出(坪川氏)と続き、議決事項三件が提案され、満場一致で承認されました。

また、第十二期の活動方針では加藤幹事長により、新しいメンバーの積極的参加体制づくりと社会に開かれたREF活動の推進という決意表明がなされました。

続いて、新分科会会長による活動方針、各担当幹事による理論研究会、地域交流の活動方針が説明されました。最後に副幹事長による閉会の辞で十七時三十分第十二回総会は閉会しました。

総会終了後、十七時四十五分から懇親会が催され、乾杯、歓談と続き、スピーチなどが行われ、盛況のうちに万歳三唱をもって閉会となりました。

○議決事項 すべて満場一致で可決されました。

・第十一期決算報告について

・役員改選について

・第十二期予算案について

議決事項

第十二期役員案(敬称略)

会長 長本多義明

副会長 児玉忠

幹事長 加藤哲男

副幹事長 長村一男

幹事 前川政人

幹事 橋本栄治

幹事 小嶋直人

幹事 三輪裕一

幹事 沢崎幸夫

(国際交流担当)

(邑都)

(総務)

(財務・地盤)

(交通)

(土地利用)

幹事

酒井俊雄

古市俊和

川上洋司

長谷川義則

稲葉隆夫

下川明秀

野村吉範

岩崎光男

嶋田喜昭

塚本勝典

(緑)

(財務支援・地象)

(論文・理論研)

(談話会)

(研修会)

(広報)

(総務支援)

(広報支援)

(談話会支援)

第11期決算報告

収 入		支 出	
費 目	決 算	費 目	決 算
正会員 会費	912,000	分科会活動助成金	360,000
学生会員会費	36,000	理論研究会助成金	40,000
会友 会費	212,000	談話会助成金	16,760
中間報告会	0	研修会助成金	0
総 会	65,000	機関誌印刷費	170,980
繰 入 金	202,271	地域交流	
預金利子	2,720	国際シンポジウム	205,000
寄付金その他	0	中間報告会費	12,823
会費未納金	0	総 会 費	127,242
		会議室管理費	30,000
		通信連絡費	53,944
		旅 費	10,000
		雑 費	18,390
		予 備 費	0
		積 立 金	100,000
合 計	1,431,000	合 計	1,173,989

繰入金=1,082,606-958,663=123,943

第12期予算案

収 入		支 出	
費 目	予 算	費 目	予 算
正会員 会費	948,000	分科会活動助成金	420,000
学生会員会費	42,000	理論研究会助成金	50,000
会友 会費	204,000	談話会助成金	100,000
中間報告会	45,000	研修会助成金	200,000
総 会	65,000	機関誌印刷費	220,000
繰 入 金	202,271	中間報告会費	130,000
預金利子	729	総 会 費	140,000
寄付金その他	2,000	幹事会費	30,000
会費未納金	0	会議室管理費	30,000
		通信連絡費	60,000
		旅 費	10,000
		雑 費	18,000
		予 備 費	55,000
		積 立 金	100,000
合 計	1,563,000	合 計	1,563,000

談話会開催のお知らせ

今期第1回の談話会が下記の通りに開催されることになりました。今回のテーマは、「日韓地域計画国際シンポジウムに参加して（地方自治制と地域都市計画について）」であり、フリートークスタイルで行われます。

日 時：8月28日（水）

午後6時30分

場 所：県職員会館 403号

ゲスト：本多 義明氏

川上 洋司氏

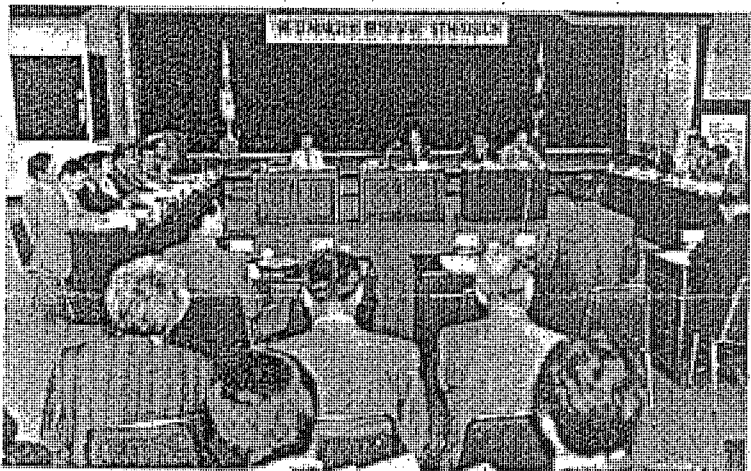
加藤 哲男氏

長村 一男氏

村松 俊明氏

松本 隆二氏

浅井 俊和氏



韓日 국제 학회 지방 도시 계획 심포지엄 장면.

※さて、新担当幹事の長谷川氏と支援嶋田喜昭君により、第12期談話会もより活発に行われることと思われませんが、メンバーのマンネリ化を避け、活動的な談話会にするためにも皆様の積極的な参加をお願いします。

新生理論研発足！！

－ 参加会員募る－

新担当幹事が川上氏となり、理論研のメンバーも一部入れ替わり、新しい理論研が始まります。初回理論研の開催日はまだ未定ですが、積極的に参加する意志のある会員を広く募集しております。参加する意志のある会員は、川上氏（福井大学TEL23-2500（Ext2804））まで連絡するようお願いいたします。

REF会議室移動のお知らせ

去る8月14日に、REF会議室の引越しが行われました。引越し先は三谷ビルの204号室です。

これまで幹事会を始め各委員会の場、あるいはREFの拠点として活用されてきたREF会議室ですが、ここにきてやや狭いと感じられる時もあり、不便さがありました。今回の204号室は、その点ではかなり広々とした感じがして、幹事会のような大人数にも耐えられる広さになったのではないかと思います。

REF海外研修班

無事帰国

REF海外研修班（IRE共催）が、有意義な都市調査を終え、7月29日に無事帰国しました。

分科会だよりは

次号期待

★★★ 編集後記 ★★★

第11期活動を締めくくる総会も無事終わり、第12期の活動がいよいよ開始されようとしています。皆様も忙しい最中であるとは思いますが、これからのREF活動における積極的な参加が期待されます。今後のREFニュースにも活発な活動報告を掲載していきたいと思っております。

（Mitsuo）

REFニュース第78号の訂正

REFニュース第78号の第11期決算報告において、誤りがありましたので、下記のとおり訂正してお詫びいたします。

第11期決算報告

収 入		支 出	
費 目	決 算	費 目	決 算
正 会 員 会 費	912,000	分科会活動助成金	360,000
学生会員会費	36,000	理論研究会助成金	40,000
会 友 会 費	212,000	談話会助成金	16,760
中間報告会	0	研修会助成金	0
総 機 関 誌 印 刷 費	65,000	機 関 誌 印 刷 費	170,980
繰 入 金	202,271	地域交流	
預 金 利 子	2,720	国 際 シンポジウム	205,000
寄付金その他	0	中 間 報 告 会 費	12,823
会 費 未 納 金	0	総 会 費	127,242
		幹 事 会 費	28,850
		会 議 室 管 理 費	30,000
		通 信 連 絡 費	53,944
		旅 費	10,000
		雑 費	18,390
		予 備 費	0
		積 立 金	100,000
計	1,429,991	計	1,173,989

$$\text{繰入金} = 1,429,991 - 1,173,989 = 256,002$$

第12期予算案

収 入		支 出	
費 目	決 算	費 目	決 算
正 会 員 会 費	948,000	分科会活動助成金	420,000
学生会員会費	42,000	理論研究会助成金	50,000
会 友 会 費	204,000	談話会助成金	100,000
中間報告会	45,000	研修会助成金	200,000
総 機 関 誌 印 刷 費	65,000	機 関 誌 印 刷 費	220,000
繰 入 金	256,002	中 間 報 告 会 費	130,000
預 金 利 子	998	総 会 費	140,000
寄付金その他	2,000	幹 事 会 費	30,000
会 費 未 納 金	0	会 議 室 管 理 費	30,000
		通 信 連 絡 費	60,000
		旅 費	10,000
		雑 費	18,000
		予 備 費	55,000
		積 立 金	100,000
計	1,563,000	計	1,563,000

第12期REF第1回幹事会開催

第12期第1回幹事会が平成3年9月24日(火)午後6時30分よりREF会議室において開催されました。出席者は、本多氏(会長)、加藤氏(幹事長)、橋本氏(総務)、小嶋氏(財務・地盤)古市氏(財務支援・地象)、川上氏(理論研・論文)、長谷川氏(談話会)、稲葉氏(研修会)、下川氏(広報)、岩崎(広報支援)の10名でした。

今期は、「開かれたREF活動の推進」をテーマに幅広い活動を行っていくことが望まれますが、活発な意見交換の結果、第1回幹事会においては以下の事項が承認されましたのでご報告します。

なお、次回幹事会は11月27日(水)に開催の予定です。

第12期REF運営方針について

1. 幹事会運営基本方針

○幹事長

今期も幹事会は基本的には2カ月に1回のペースで開催し、計6回を予定する。

2. 各業務執行基本方針、年間計画及び当面の行事予定

○総務

行事予定は来年の1月末か2月に中間報告会を開催し、総会は7月を予定する。

○財務

今期より、従来までの分科会活動への助成金に加え、特別枠として全体で60,000円の予算を設ける。各分科会の予算申請内容を審査して配分する予定。

○広報

発送先の確認をし、2カ月に1回のペースで定期発行をする。

○談話会

今期は、春と秋の2回を開催予定とする。なお、開催の案内については、REFニュースに掲載すると共に別途の案内状を送付する。

○研修会

12期も年1回の海外研修を行う。今後場所等についてのアンケートを行うなど、具体的計画を早めに決定する。

研修時期は7月から8月を予定し、1月から2月中に発表する。

○理論研

第1回理論研を10月14日に開催し、今後の具体的進め方についての検討を行う。

3. 研究計画と分科会開催状況

各分科会とも、具体的な活動計画はまだ未定ですが、第1回分科会を10月初旬に開催予定。

会員の移動等雑件

新規入会(敬称略)

◎牧野 浩志 氏 … (交通分科会)

所 属: 福井県土木部道路建設課

自宅住所: 〒910 福井市木田2-603-205

電 話: 0776(36)1079 (呼)

会員NO.180

第12期理論研究会

活動開始

今期第一回理論研究会を、10月14日(月)18:30よりREF会議室(三谷ビル204)にて行います。開かれた理論研と活動の充実化に向けて、研究会としての今期の方針、具体的進め方を先ず検討する予定にしております。メンバーの固定化を打破するために新しいメンバー、特に若い会員の方々の積極的参加を希望致します。その際には、是非取り組みたいという文献があれば、それを持って気軽に御参集下さい。

分科会研究助成金

申請の案内

今期より分科会活動に対する研究助成制度が発足致しました。これは、通常の各分科会への割当予算に加えて、申請にもとづき特別に助成(総額6万円/年)を行うものです。費目は問いませんので各分科会は今期の研究報告書に申請理由を付して、論文担当幹事川上まで提出して下さい。11月27日開催予定の幹事会にはかりたいと思います。

なお、提出期限は11月25日(月)と致します。

連絡先 〒910 福井市文京3-9-1

福井大学工学部環境設計工学科

川上 洋司

TEL 0776(23)0500 内2804

開かれたREF活動の推進に向けて

幹事長 加藤哲男

第9期から幹事長を務め、今期で4期目になりました。総会でも議論しましたが、今期は「開かれたREF」をキャッチフレーズに積極的な活動を展開したいと考えています。その手始めに、さる8月28日の談話会には行政機関、国際交流機関や報道機関に広報活動を行い、一定の成果を得ることができました。今後のREF活動においても同様の方法で広く一般市民に対する広報を展開することにしてはいますが、特に春季と秋季の2回の談話会と、総会、中間報告会の合計4回のイベントを重点的に公開し、開かれたREFのイメージを強くアピールしたいと考えていますので、会員各位のご協力をよろしくお願い致します。

分科会だより

交通分科会

9月中は各人それぞれの仕事が多忙で分科会を開催できませんでした。

アメリカで精神修行をなさっていた前川先生も何とか無事に帰国なされたので、10月の第2週には12期の出発をしたいと思っています。

緑分科会

10月中にテーマを決める予定です。

土地利用分科会

10月下旬に分科会を開催し、本年度のテーマを決める。

地盤分科会

斜面崩壊をテーマとした研究を2期に渡って行ってきましたが、今期もその継続を考えています。活動は10月上旬からスタートしたいと思っています。

邑都分科会

前期の試論を踏まえ、都性と邑性という概念で地域を捉えることの意義、意味についての検討をさらに深める。具体的には、地域の歴史的形成過程からみた都性・邑性、前期提示した邑都軸の詳細な分析を行う予定である。

第1回分科会は10月初旬に開催の予定である。

地象分科会

前期に引続き、福井地域における古地震の調査を続ける。今期は明治初期から現代までを対象とする。当面は、資料の整理になると思われる。

第1回”REF談話会”報告(新聞記事掲載)

去る8月28日に、県職員会館において開催された第1回談話会が新聞記事になりましたので、これを以下に記載しました。今回の談話会は一般からの参加もあり、多数の参加者を得ることができました。



地域研究分野での日韓交流の在り方を考えたREF談話会

都市づくりなど地域計画を産官学の有志で考えている「福井地域環境研究会」(略称REF、会長・本多義明福井大教授)は二十八日夜、福井市の県職員会館で談話会を開いた。

REFは韓国釜山市の地域研究組織と活発に交流を続けており、今年六月には同市で開かれた日韓地域計画国際学術シンポジウムに招かれ意見交換した。談話会ではその様子を報告するとともに、今後の地域研究分野での交流の在り方について考えた。

会員のほか学生や一般市民など二十人余りが参加。本多会長のあいさつに続いて、このほか、釜山市で約三千二百億円をかける海上新都市(人工島)建設計画が具体化していることも紹介され、出席者の関心を引きだ。

このなかで、釜山市が地方自治制移行への渦中で独自の都市づくりを模索している現状が紹介された。特に地域計画を立てるにも人材不足に悩む実情があり、REFのような地域研究組織の存在と交流の必要性が指摘された。

た。

釜山の都市計画紹介

地域環境研究会が談話会

福井

☆☆☆ 編集後記 ☆☆☆

先日第1回の幹事会が開かれましたが、前期のREFニュースに対して、誤字、訂正箇所が多いなどのお叱りを受けました。また、発送についても見直しが必要だという御指摘を受けました。「開かれたREF」のために情報を確実に会員、会友の皆様へお届けするためにも、今後は定期的に発行することを決め、また情報ミスを完全になくすようチェックを怠らないように致します。発行は偶数月の10日です。どうか皆様にも、REF活動への積極的な参加をしていただきますようお願い致します。

(by Mitsuo)